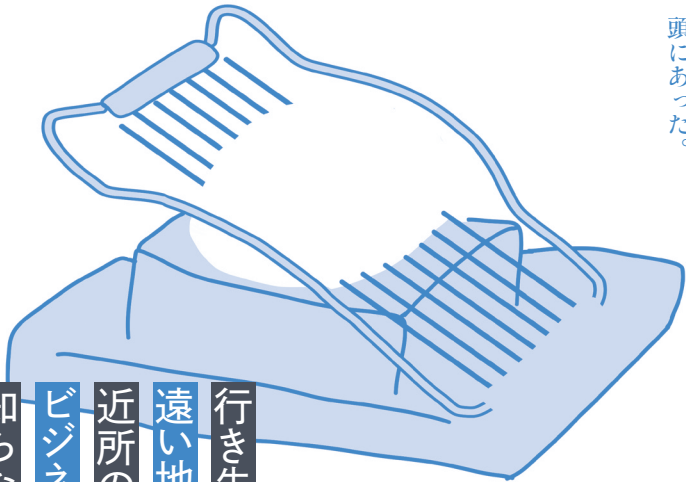


今の疲れ果てた自分でも読めるような、
むしろ、こんなときだから読みたくなる
ような本はないものだろうか……まばゆ
く見える本ばかりが並ぶ書店をよろよろ
と出たの帰り道、暗くて静かな旅行記を
書こう、と心に決めたのだった。大好き
な『つげ義春日記』の、あの雰囲気が一
頭にあった。



行き先は何も

遠い地に限らない。

近所の旅館や

ビジネスホテルにも、

知らない世界が

広がっている。

スズキナオ、初の旅エッセイ集
『家から5分の旅館に泊まる』